

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGs(持続可能な開発目標)で掲げる17の目標



エスディーズ
SDGsを
考える
推奨映画作品
このほかの作品も
対象になります。



モアナと伝説の海2



マイエレメント



Fukushima 50



42 世界を変えた男

© 2025 Disney © 2025 Disney/Pixar © 2020 「Fukushima 50」製作委員会 © 2014 Warner Bros. Entertainment Inc. All rights reserved.

～子どもたちが未来を考えるきっかけづくりを映画で～

映画感想文コンクールでは、スペシャルプログラムとしてSDGs特別賞を設けております。貧困・差別・ジェンダー・環境など様々な問題を、映画を通じて子どもたちが自身の問題として受け止めてもらう事で、将来に向けて自分はどう向き合っていけば良いのか、これからの社会を歩んでいくためのきっかけにしたいと思います。

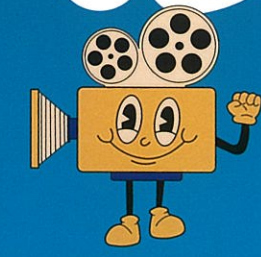
このドキドキを……言葉にしよう！



文部科学省 後援

映画と育む、コトバとココロ。

映画感想文 コンクール2025



全国大会

グランプリ

各部門1名(計4名)

賞について

特典

表彰式ご招待

2026年2月開催予定
※入賞者発表:2026年1月予定
表彰式は(第99回
キネマ旬報ベスト・テン表彰式)内で
行われる予定です。(会場:東京都内)



優秀賞

各部門5名(計20名)

特別賞

SDGs特別賞	1名	寅さん賞	10名
映倫・次世代映画賞	全部門から計4名	白雪姫賞	1名
プライム・ビデオ賞	1名	東映ビデオ賞	1名
ゴジラ賞	1名	ポニーキャニオン賞	1名

特典

「推奨映画作品」から
選んでみよう！
映画グッズやチケット・
商品券などをご用意！



団体賞

最優秀賞	1校
優秀賞	複数校
団体参加賞	5名以上で応募の団体

特典
1

積極的な参加を
いただいた団体を表彰

特典
2

5名以上で参加してくださった団体には
人数分のオリジナルグッズをプレゼント！



入賞者
全員！

映画雑誌
「キネマ旬報」
にお名前を
掲載



スペシャルプログラム 2025 SDGs特別賞

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
～子どもたちが未来を考えるきっかけづくりを映画で～

- 主催** 全国映画感想文コンクール実施委員会
- 後援** 文部科学省、全国都道府県教育委員会連合会、一般社団法人日本映画製作者連盟、一般社団法人日本映像ソフト協会、一般社団法人外国映画輸入配給協会、全国興行生活衛生同業組合連合会
- 協賛** アマゾン・ジャパン合同会社、ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社、一般財団法人映画倫理機構、株式会社 KADOKAWA、松竹株式会社、東映ビデオ株式会社、東宝株式会社、ブルーレイディスク アソシエーション、株式会社ポニーキャニオン、武蔵野興業株式会社、株式会社メイジャー、映画ランド株式会社、株式会社エスピーオー、株式会社チネチッタ、東宝芸能株式会社、ニューセレクト株式会社、公益財団法人ユニジャパン

文部科学省 後援

映画と育む、コトバとココロ。

映画感想文 コンクール2025

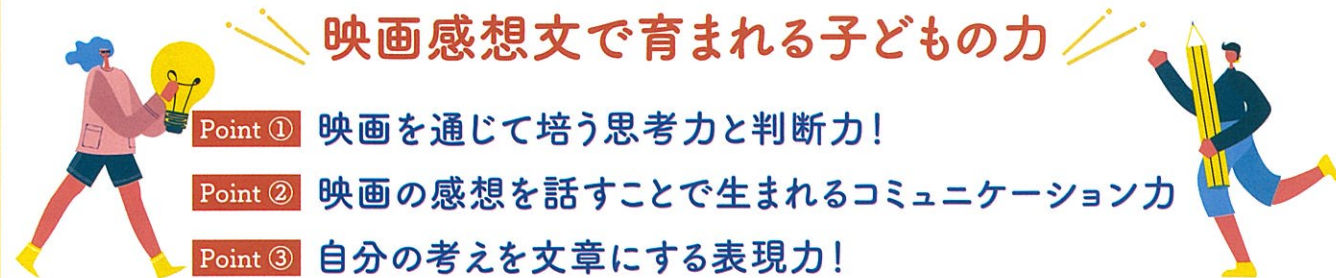
2024年大会
応募総数
15,024編!!
過去最多!!

とは?



「映画感想文コンクール」が「映画と育む、コトバとココロ。」をスローガンに今年も開催されます。2025年に観た映画であれば、映画館、DVD・ブルーレイ、配信、TV放送など、どこで観ても、だれと観ても、どんな映画でもかまいません。映画を観て、感じたこと、思ったことをみんなに伝えましょう。

映画感想文で育まれる子どもの力



Point ① 映画を通じて培う思考力と判断力!

Point ② 映画の感想を話すことで生まれるコミュニケーション力

Point ③ 自分の考えを文章にする表現力!

INTERVIEW

映画は「観て終わり」ではなく「観てからも面白い芸術」です

文化庁参事官(芸術文化担当)付芸術文化調査官 田村 順也氏



私が映画を好きになったきっかけは、映画を通していろいろな人とコミュニケーションが出来ることを体験したからです。映画館のスクリーンに映し出される映像には、ストーリーだけではない豊かな世界が存在しています。映画を観て何を感じたか、どの場面が印象に残ったか、まずは子どもたちに映画を観た時に感じたものを素直に受け取ってほしいと思います。迫力のある映像に驚いたり、物語に感動して涙が出たり、登場人物の行動がおかしくて笑ったり。映画は様々な感情や感動と出会え

ます。それ以外にも、ビルや海や森など普段の生活で見ている自然や町の風景が映画で観ると全く違うように感じられたり、ある映画の登場人物の行動に共感したり、逆に自分ならそんなことはしないのと思うような行いをすることもあるでしょう。

そんな映画で感じたことを言葉にすることも、映画の楽しみの一つです。映画は「観て終わり」ではなく「観てからも面白い芸術」です。映画で感じたことを感じたまま言葉にしてみましょう。そして、「私はこう感じた」と家族や友達に話して

コミュニケーションを取ってほしいです。なぜなら、映画を観て感じたこと印象に残ったことは、人によって違うこともあるからです。映画が描く豊かな世界を体験しながら、子どもたちが自分自身の感性の豊かさ、他の人たちの多様な考え方に気づかされる。映画の感想を書く中でそんな気づきが得られることでしょう。

田村 順也(たむら・じゅんや) / 文化庁参事官(芸術文化担当) 付芸術文化調査官
2023年4月より文化庁で日本の映画文化振興を図る施策に従事している。

応募要項

応募資格および文字数

小学校 低学年の部(1~2年生): 400字以内
中学年の部(3~4年生): 800字以内
高学年の部(5~6年生): 800字以内

中学校の部(1~3年生): 1,200字以内

対象映画

映画館やDVD・ブルーレイ、配信、TV放送など鑑賞方法は問いません。お気に入りの映画を観て、その感想文を送ってください。

応募受付期間

2025年7月1日(火)~9月16日(火)
9月16日(火)消印有効

提出先

〒279-0024
千葉県浦安市港69番(アライプロバンス浦安内)
イシカワコーポレーション浦安センター内
「映画感想文コンクール」事務局

- 各応募票は公式HPの【応募方法】欄からダウンロードしてください。
- また、同欄に記載の注意事項をよくご確認の上、ご準備ください。
- 応募票の添付漏れ、記入漏れなど不備がある場合は審査対象外となる可能性があります。

応募手順

STEP
1

映画を
見る



STEP
2

感想文を
書く



感想文の
両面書きは
不可

STEP
3

応募票をダウンロードして
必要事項を記入する

STEP
4

応募票を感想文にクリップで止める

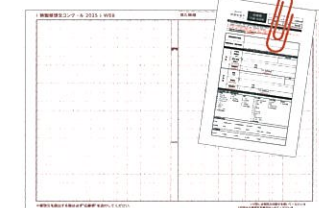
個人応募の場合

団体応募の場合

✓ 応募票

✓ 応募票

✓ 団体応募票



STEP
5

応募
する

応募(郵送)
9/16火
消印有効



各応募票は公式サイト
からダウンロード

※詳しくは次のページをご覧ください

※応募票に記入された感想文題名・映画名および氏名・学校名・学年と入賞作品を含むすべての応募作品は主催者の刊行物やWebサイトのほか、テレビ、ラジオ、雑誌、書籍、教材等各種媒体で使用・公表することがあります。
※応募いただいた感想文の返却はいたしませんので、必要に応じてコピーなどをおとりください。

※内容は変更になる場合がございます。